

クラブ創立45周年にあたり



行田さくらロータリークラブ
第45代会長 長谷川 博

ロータリーを面白くしよう、そして楽しもう。

2021～2022年度行田さくらロータリークラブの創立45周年の記念すべき年度に会長に就任させて頂くことになりました。ロータリーではまだまだ経験不足の私です。会員の皆様、特に先輩諸氏の方々に御協力ご指導をいただき会長の職務を全うしたいと思います。

基本的な考え方として、

魅力的で活気に満ちたクラブ作りをしたいと思います。

1. ロータリー理念の普及と実践がロータリーの社会的存在価値を高めると思います。各クラブの存在価値は、属する地域社会への貢献によって高まると思います。
2. ロータリー運動の主体は、一つ一つのクラブです。そして、クラブの活動の成否は、クラブ会員の主体的・自発的行動にかかっています。
3. 職業や国・地域や個性・能力等の多様性が、ロータリーの活力の源泉です。
4. 時代や社会環境の激変によって、ロータリークラブ(の組織や活動のあり方)は、大きな変革を求められています。
5. ロータリークラブを変革していくには、長期的なビジョン・戦略と、継続的な取り組みが必要です。
6. 一人一人の会員の満足度(充実感、参画意識、やりがい)を高めていけばクラブ全体の組織活力が高まり、効果的なクラブになります。

具体的には幸い、行田さくらロータリークラブは、先輩諸氏が実例で目標を作ってくれています。最長老会員、ガバナー、ガバナー補佐、地元商工会議所の会頭(地元経済団体の長)等明白です。RI会長も夢ではないように感じられます。

行田さくらロータリークラブは地区内でも評判の活気あるクラブです。
現在出席率の少ない会員にいかにも多く出席してもらえることが大事なことになると思います。

1. 種々の移動例会、行事、また通常例会を充実してできるだけ多くの方に出席いただく事を目指します。
2. 夜間例会を増やし新人会員等の出席し易い環境を作り、出席率向上を目指します。
3. 入会1～3年の会員向けの研修会、炉辺等の実施。
4. 米山梅吉さんの言葉に『例会は人生の道場である』とありますが、ロータリーのサービス精神の真髓を学んだり、会員とともにロータリアンとしての自己研鑽を行おうではありませんか。
5. 会員増強はクラブにとって活性化の強い力となります。担当会員はもちろん、全会員が常に知人に入会を働きかけるという意識をもって頂きたいと思っております。

一年間宜しくお願ひします。

以上

長期目標 (創立以来の継続的重点目標)

私たち行田さくらロータリークラブは、日本の「さくら」の愛護保存育成等の事業に協力し地域の「さくら」の植樹や桜名所の保全活動を推進し「さくら」を通じた内外の親善文化事業を実施します。

年次目標

1. 創立45周年記念事業
 - A. 記念植樹を通じた国際交流事業 (タイ王国チェンマイ市)
 - B. 記念式典・記念講演の開催
2. SAA、親睦・家族委員会、出席奨励委員会、スマイル委員会
魅力ある参加しやすい例会を企画する。夜間例会の充実を図る。
 - A. 春季親睦観桜旅行 (京都周辺地域) 企画設営
 - B. ゆかた例会 (草津温泉方面)
 - C. クリスマス望年会 企画設営
 - D. 3クラブ合同賀詞交歓会 企画設営
 - E. 最終例会 企画設営
3. 公共イメージ委員会
ロータリーの社会的意義を高めるため、テレビ・新聞・SNS・その他公共メディア等を利用し、当クラブの活動を周知させる。
HPの担当として当クラブのHPの更新を行う。
4. ロータリー雑誌委員会

「ロータリーの友」をできるだけ多くの会員が有効活用できる様対策を考える。

5. 会員増強 5名を目標とする。

6. ロータリー研修委員会

R L I を有効活用し会員にロータリーのことをより深く理解してもらうように積極的な参加を勧める。

7. 社会奉仕委員会

さくら植樹・保護活動は当クラブの長期目標として掲げている。クビアカツヤカミキリ撲滅にむけた活動の、地域の連携を前提とした中期的方針を策定する。新型コロナウイルス感染防止のためにクラブでなにができるか検討し、各委員会と協力し、実行する。

8. 職業奉仕委員会

会員及び経営者に卓話していただく例会を企画する。職業奉仕を実践している会社を見学する例会を設営する。

9. 青少年奉仕委員会

「行田さくらRC杯ミニバスケット大会」を継続支援し、行田及び近隣の青少年育成事業を実施する。

10. 国際奉仕委員会

当クラブの植樹を通じた国際交流事業をさくら文化環境委員会と協力して企画設営する。45周年記念事業としてタイの植樹活動を進めているが、国際親睦から国際奉仕へと現地RCとの打ち合わせによりグローバル補助金などロータリー財団委員会と協力し、深い取組を考える。

11. さくら文化環境委員会

クビアカツヤカミキリによる被害拡大が進行している。クビアカツヤカミキリの生態を観察・研究し、より効果的な駆除を実行する。国際奉仕委員会と協力して新規の植樹事業を展開する。

12. ものづくり大学交流委員会

「ものづくり大学さくら奨学金」による青少年育成事業をより強固に連携するため、学園祭参加等の事業を企画設営する。

13. 健康管理委員会

会員の健康増進に寄与する情報提供のための例会を企画設営する。

14. 米山記念奨学委員会

奨学生を受け入れます。

TAY QING (テイ チン) 20歳 国籍：マレーシア

15. クラブ戦略計画委員会

5年後（創立50周年記念年度）に向けた計画の立案。その為に本年度に何をやるかを考える。

16. 他団体との連携・共同事業